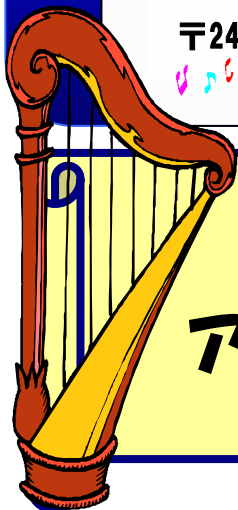


# 倉田コミュニティハウス通信

## 2010年4月号 NO. 41

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800



### 気軽にコンサート vol. 13 アリアを唄う ソプラノとハープの協演

昨年、大好評でしたハーピストとソプラノの音楽家をお招きし、贅沢にハープの伴奏でオペラをお楽しみいただきます。ハープのソロ演奏やディズニーメドレーなど親しみやすい曲目もご用意いたしました。お誘い合わせの上、ご来館ください。



ソプラノ  
羽島実優さん

ハープ  
横田和美さん



日時：2010年4月24日（土）午後2時から1時間程度

開場：午後1時半 場所：倉田コミュニティハウス

曲目：ブッチーニ/ジャンニ・スキッキより「私のお父さん」

ラ・ボエームより「私の名前はミミ」、ディズニーメドレーほか

定員：先着50名様 **予約は要りません。参加費：無料です。**

50名様以上の場合は立ち見となることもございます。曲目が変更になる場合もございますのでご了承ください。また、車での来館はご遠慮ください。



# 4月の予定表 詳しくはお問い合わせ下さい。



1(木)	<b>抽選会</b>	午前 10 時から 2010 年 5 月分の抽選会です。	
6(火)	<b>123クラブ&amp; フリースペース</b>	1歳～未就園児向け の子育て支援です。	申し込みは終了いたしました。 午後 12 時から 1 時まで フリースペースになります。
3・10 17・24 (土)	<b>3時になったら ラジオ体操プラスお茶</b>	0才～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費 100 円です。
16(金)	<b>サロン上倉田</b>	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 午前 10 時から午後 2 時まで
19(月)	<b>トールペイント講座</b>		申し込みは終了いたしました。
20(火)	<b>0歳児クラブ</b>	0歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
20(火)	<b>フリースペース</b>	親子の遊びスペース	午後 2 時から 3 時まで
21(水)	<b>ぴよぴよクラブ</b>	8ヶ月～1才半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 12 時まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 50 円です。
23(金)	<b>ハートぽっぽクラブ</b>	1才半～2才半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 12 時 30 分まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 100 円です。
24(土)	気軽にコンサート vol. 13 <b>ARIA</b> を唄う <b>ソプラノとハープの協演</b>		詳しくは 1 面をご覧ください。
26(月)	<b>休館日</b>	全館点検のためお休みいたします。	
28(水)	<b>上倉田社協食事会</b>	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 午前 11 時半～午後 2 時まで

# 倉田コミュニティハウス

## 自主事業予定

いつもいろいろな企画の事業をやっていますね～嬉しいお言葉を頂きました。

皆さんから頂いたご要望やアンケートに記入されていた内容を元に、スタッフ一同、地域の皆さんに楽しんでご参加いただける自主事業を考えています。2010年の春から夏にかけて予定されている自主事業を掲載します。

4月	気軽のコンサート vol. 13	1面をご覧ください。
4月	トールペイント講座	定員になりましたので、申し込み締め切りました。
6月	水彩画講座	10回のコースです。講師の方にレッスンなど初歩から習います。館を離れて写生にもいきますよ。5月号通信にてお知らせします。
7月	0歳児クラブ第5期生	6月号通信にてお知らせします。
7月	夏休み全館まるごと キッズオープンデー 水と遊ぼう！ 消防自動車に乗ってみよう！！	夏休み縁日や戸塚消防署のご協力によって、本物の消防自動車がやってきます。消防士さんの制服を着て、本物のホースで散水体験もできますよ！！
8月	気軽にコンサート vol. 14 「みんなで唄おう」	生演奏をバックに、大きな声で歌いましょう！



### スタッフのひとり言

先般終わった冬季五輪をテレビ観戦しながら夏のオリンピックに思いを馳せていて、ふと思い出したはなし。

「50年ほど前のある日の未明、北京住民が一人のこらず鍋、釜、洗面器などを持って屋根にのぼった。そして一斉にガンガンぽんぽんと叩き始める。何百万人の市民が一人のこらずだからその騒音は想像もつかないが、スズメは目をさまされて空に飛び立つ。が、この鳥は長時間とび続けることのできない鳥だからすぐにおりようとする。しかしガンガンぽんぽんだからどこにもおりることができずにふらふらになってしまう。

北京の街はずれの一角に空地があってそこだけはぽんぽんガンガンがなくてひっそりとしている。何万羽か何百万羽かのスズメがそこへ逃げこむ。それを火炎放射器で一挙に抹殺した。スズメは稲穂をついばむ害虫ということで・・・」こんな内容だったと記憶しているが、いかにもかの国にありそうなスケールのおおきな話として脳裏に残っている。

むかし読んだ開高健のエッセイ集の中の一編で紹介されていたはなしだが「スズメ退治の翌年はイナゴなどの害虫がのさばってひどい不作になった」という意味の記述があったことを思い起こすと、著者からすれば単純な奇想天外物語として読まれるのは心外かもしれない。かの国の全体主義に対する深い啓示も含まれているにちがいない。どの本に載っていたかさえ定かでないが、家捜し(やさがい)して読みかえしてみようと思っている。

《M.T》